

医学研究センター

研究支援管理部門

村越 隆之
(部門長)

1. 構成員

部門長 村越隆之 (MURAKOSHI Takayuki) : 教授 医学部 生化学
副部門長 杉山聡宏 (SUGIYAMA Toshihiro) : 講師 大学病院 整形外科
部門員 大竹 明 (OHTAKE Akira) : 教授 大学病院 小児科
森 隆 (MORI Takashi) : 教授 総合医療センター 研究部
町田早苗 (MACHIDA Sanae) : 助教 医学研究センター
小谷典弘 (KOTANI Norihiro) : 准教授 医学部 生化学

2. 目的

学外研究費獲得の推進と若手研究者の研究マインド醸成, 学内グラントの活用, 研究成果報告とその管理, リサーチアドミニストレーションセンターとの連携による研究倫理推進等により, 学内研究者の研究活動を支援する。

3. 活動報告

1) 学内グラントと研究奨励費の助成

平成29年度学内グラント募集に対し, 丸木記念特別賞5件, 一般34件, 計39件の応募があった。分野別の複数の選考委員による予備審査の後, グラント選考委員会が開催され, 丸木記念特別賞1件, 一般26件(追加採択の9件も含む), 関口記念特別賞1件, 計28件の研究テーマが採択された。さらに, 学内グラント採択課題(一般, 関口記念特別賞)が翌年, 翌々年度に科研費採択(研究テーマが直接関連していることが条件)の場合に対象となる研究奨励費(20万円, 購買経由の使用, 経費報告書必要なし)が計6件助成された。

2) 論文投稿報告書の管理

倫理審査の対象となった研究内容についての論文投稿に際し, 義務付けられている論文投稿報告書の提出は, 平成29年度は53件であり, 平成28年度(51件)とほぼ同様の件数であった。なお, 倫理審査を要した研究とは, 大学倫理審査委員会, 保健医療学部倫理審査委員会, 3病院のIRBで審査された案件に関わる全ての研究である。

3) 剽窃検知ソフト iThenticate の試験運用

現在までに国内の半数近くの医学部を有する大学に導入されている剽窃検知ソフト iThenticate (図) の試験運用を平成29年度から開始した。剽窃とは他の研究者のアイデア, 情報や成果等を当該研究者の了解もしくは適切な引用なく発表することであり, このような研究不正が発覚すると著者個人だけでなく組織全体に信用失墜等の重大な影響が及ぶ。研究マインド支援グラント(共通部門研究費)により, 平成30年度まで2年間の試験運用を予定している。



4) 科学研究費獲得状況の把握

平成 29 年度の科研費採択結果は、申請総数 208 件（申請率 16.46%）に対して、新規採択 46 件（採択率 22.12%）、採択総額 243,880 千円であった。申請総数・率、採択率、採択総額いずれも去年よりも増加し、採択総額については過去最高となった。その要因は比較的採択額の大きい基盤研究 B に 5 件、若手研究 A に 1 件と複数件採択されたためであると考えられる。これら採択額の大きい種目の獲得件数増加を目指すとともに、引き続き学内グラントなどの周知を通じて、申請総数・率の向上を目指して支援を行いたい。